

平成30年度 第1回 平塚市図書館協議会 会議記録（要旨）【公開用】

開催日時	平成30年7月12日（木）14時00分～16時00分
開催場所	平塚市中央図書館3階会議室
出席者	委員 竹之内 禎 会長 小林 利幸 副会長 湊 敬実 委員 中野 友香 委員 河野 亜希 委員 事務局 高橋 社会教育部長 小林 中央図書館長 本名 北図書館長 宮脇 西図書館長 佐伯 南図書館長 菊坂 奉仕担当長 高橋 管理担当長 杉山 管理担当主査 平原 奉仕担当主査
欠席者	跡部 左恵 委員
傍聴人	2名

議 事

（1）平成30年度平塚市図書館予算の概要と事業計画

・平成30年度平塚市図書館費歳入歳出予算の概要

事務局から資料の説明を行った。

6月29日に新図書館システムが稼働し、図書館ウェブサイトは、大幅にリニューアルした。スマートフォンにも対応し、読書履歴の保存・活用できる機能や、資料をデジタル化する機能を備えるようになった。

・平成30年度平塚市図書館事業計画

事務局から資料の説明を行った。

市民と協働して開催している「子ども読書活動推進フォーラム」については、昨年度まで、中央公民館大ホールを会場に年1回実施していたが、昨年度の実行委員会で出された反省点等を踏まえ、平成30年度からは、中央図書館ホールへ会場を移し、年3回それぞれ対象者を変え、実施することとした。小さな会場で実施することで、講師を身近に感じ、すべての来場者に参加した実感を持っていただければと考えている。

（2）今期テーマ「図書館の運営体制の検討」について

・民間活力の活用に係る具体的業務取組方針について

事務局から資料の説明を行った。

平成30年3月26日に「民間活力の活用に係る具体的業務の取組方針について」において、民間活力を活用している先進自治体の取組から効率化が図られる可能性がある事業について、中長期的な視点による民間委託の導入を前提として検討し、方向性が示された。適正な業務執行の確保、現状サービス水準の質の維持及び確保、民間活力の導入による効果の3つの視点から、民間活力の活用の可能性について検討を行った結果、図書館業務については、民間活力を活用する方向性となった。

まず、中央図書館では、平成32年度から窓口業務委託を導入する方針である。窓口業務については、民間ノウハウの活用による市民サービスの向上や人事管理等の負担の軽減、職員が実施する必要がある業務への再配置が可能であり、経費においても削減が

見込めるため、より効果的な業務委託となるよう、業務等の精査を行い、準備を進めていく。

地区図書館については、平成34年度から地区図書館（3館）へ指定管理者制度を導入する方針である。指定管理者制度の導入にあたっては、開館日数や開館時間の延長といった利便性の向上や民間事業者のノウハウを活かした独自企画の展開による利用者の満足度の向上など、図書館利用者の増加につながる効果が期待でき、他の図書館での勤務経験を持った人材が活用されることにより、新たな視点によるサービスの向上も期待できると考える。また、地区図書館3館を同一の指定管理者が運営すれば、人材活用の柔軟性が高まり、経費の節減が大きくなる可能性もあるので、業務等の精査を行い、事業者に任せるもの、市が直接行っていくもの等の仕分けを行い、仕様や条件等を検討していく。

移動図書館業務については、単独で業務委託等を導入しても経費の節減が見込めないため、直営を維持するが、社会情勢や地区図書館の設置状況、公共交通機関等の移動手段が変化しているため、平成30年度中に業務のあり方を決定し、本協議会においても、今後ご意見をいただきたいと考えている。

現在、どの業務も、細かい業務等の精査を行い始めたところだが、業務全部を民間事業者に任せるわけではなく、市が関わるべきところは関わっていき、公共図書館としての使命、本市の図書館としての在り方を明確にし、それらを遵守するよう、仕様書等で明示するとともに、職員が確認・指導を行っていく。

【副会長】 資料18ページ2行目に各種事業とあるが、具体的にどのような事業を想定しているのか。

【事務局】 ブックスタート、赤ちゃんおはなし会や一日図書館員等の利用者向けの事業及び各種展示を想定している。

【副会長】 中央図書館のカウンター業務に附随する業務を委託するということが、業務によっては、委託に馴染むものと馴染まないものがあり、図書館の根幹的な業務については、委託になじまないものと判断することができると思う。18ページに列挙されている「レファレンス業務」については、図書館の根幹となる業務のため、県としては委託になじまないものと考えているが、平塚市では「レファレンス業務」についても委託の対象とするということか。

【事務局】 業務の精査を始めたばかりなので、具体的にどの業務を委託するかはこれから検討するところであるが、図書館業務の根幹となる業務については、市が直接業務を行っていく。「レファレンス業務」については、地域資料を扱う等図書館の根幹となる業務と考えるので、市が直接業務を行っていくことになると思うが、具体的な精査はこれからとなっている。

【副会長】 18ページ「2判断理由」2行目に「人事異動に伴う職員研修等の負担の軽減」とあるが、確かに業務を委託するのでそのための研修の必要性がなくなることはわかるが、逆に委託先の企業から派遣される職員がきちんとした研修を受けているかどうかどのように担保するのか問われてくると思うがいかがか。

【事務局】 委託先の研修制度が確保できているかどうか職員でしっかりチェック

	クできる体制を整えたい。
【副会長】	委託を導入することによって開館時間を延長する等は検討していくのか。
【事務局】	地区図書館については、指定管理者制度を導入する予定なので、開館日を増やしたり開館時間を延長したりすることは事業者から提案があると想定されるので、選択肢の一つとして考えられる。
【会長】	中央図書館は建替えの可能性を指摘されていたと思うが、PFI（民間事業者が設計、施工、維持管理する公共事業の手法）やPPP（事業の企画段階から民間事業者が参加するなどPFIより幅広い範囲を民間に任せる手法）等も想定したより広い民間活力の活用も検討の対象になっているか。
【事務局】	現在市内図書館のみならず公民館や博物館等を含め、「平塚市公共施設等総合管理計画」に基づき、今後10年間で公共施設の延床面積総量の4パーセントに相当する面積を削減する目標を掲げている。各施設では、どのように施設の長寿命化を図るかを定めた各施設個別計画を平成32年度までに作成することになっているが、図書館を建替えするのを含めそれ以上のことは今の段階では決定していない。
【会長】	現段階では市全体の方針が示されただけで具体的なことは決まっていないのか。
【事務局】	市全体の方針が示されただけで、具体的にどの業務を民間に委託していくのか等は今後精査する予定となっている。
【会長】	副会長からもご指摘があったが、どこまで業務を委託するか、全国の事例なども参考にして決定していただきたい。委員の皆様も情報収集や情報提供をお願いしたい。
【副会長】	いずれかの時点でパブリックコメントを実施することは計画しているか。
【事務局】	パブリックコメントについては、市の実施基準があり、市の大きな施策、市民の権限を制限する際に実施する旨定められている。今回の民間活力の導入については、図書館のサービス向上が一つの目的であり、サービスは維持するのが前提なので、パブリックコメントの実施予定はない。利用者の意見に関しては民間活力導入後等にお伺いし、委託業者のサービス維持向上に反映させていきたい。
【副会長】	県内の他の自治体の例をみると、図書館の運営形態を決定するにあたっては、ほぼ全ての自治体でパブリックコメントや市民意見を聴く機会を設けている。図書館は、市民活動に直結するサービスを提供すると思うので、色々な意見がでるのではないかと。県立図書館の再整備計画の際には、県内4回説明会を実施し、その中で方針の修正が必要となったケースもある。市としてパブリックコメント実施の予定はないということかもしれないが、逆になぜ実施しないのかという意見もあるかもしれない。
【事務局】	現状サービスは維持し、その上に他のサービスを追加してさらに図書館全体を向上させていくのが今回の民間活力の導入の方針である。今

後、施設の再編計画の中で、図書館の建替えの方向性が示された場合等もっと大きなタイミングで、どういった図書館にしていくか、市民参加をお願いし、意見を頂戴できればと考える。

・「平塚市図書館サービス方針」策定に向けた東海大学学生との意見交換会

事務局から資料の説明を行った。

平塚市図書館全体として、利用者数の減少や施設の老朽化等、運営面・施設面ともに多くの課題が山積しているが、何よりもまず、利用者が図書館にどのようなものを求めているのか、図書館としてどのようなサービスを提供していくのか「図書館全体のサービス」を検討する必要がある旨、平成28年度平塚市図書館協議会からご提案いただいた。それを受け、平成30年2月15日に開催した平成29年度第3回平塚市図書館協議会の場で、中央図書館奉仕担当主査から、図書館はどうあるべきかという根本となる土台を定めた「これからの平塚市図書館サービス方針」(案)を提案させていただいた。また、このサービス方針を策定するにあたっては、会長のお力添えにより、平成30年6月6日(水)に東海大学学生と図書館職員との意見交換を行う機会を設けることができた。地元東海大学で司書課程を学ぶ学生の視点で平塚市図書館の将来を考えていただき、意見やアイデアを資料のような内容でいただくことができた。

【 会 長 】 資料9・10ページは前週の授業の内容であり、授業内容について事前に図書館に学生アイデア等送付し、当日見解を回答いただいた。

11・12ページは、当日意見交換した内容である。「平塚市観光マップ」を利用し、市内の観光名所なども話し合ったが、七夕以外市内観光名所を知らない学生がほとんどでそのあたりも研究の余地がありそうだと感じた。他の図書館でもこのように図書館職員と大学生が意見交換した事例はあるか。

【 副 会 長 】 県内図書館でこのような意見交換の場があったのは把握していない。

【 会 長 】 今後もまた何かの機会で、このような意見交換の場を設けることができれば良いと考える。

【 副 会 長 】 東海大学の学生さんは、普段平塚市の図書館を利用していないということだが、他の公共図書館は利用しているのか。

【 会 長 】 今回の学生は司書課程なので授業で課題を出した際は公共図書館を頻繁に利用していると思う。普段から公共図書館を利用するかどうかにについては、他の大学生よりは使用していると言えると思う。

【 事 務 局 】 本日欠席の跡部委員から意見をいただいているので、紹介させていただく。「調整していただいた会長、ありがとうございます。これからの世代の方々に、率直に意見やアイデアを伺える貴重な会だと思いません。今後もこの様な場を設けて、色々な世代の方の意見やアイデアを取り入れて、図書館のサービスの充実に繋がれば、市民に愛される、市民が足を運びたくなる図書館運営になって行くのではないのでしょうか。」

・今後の予定

事務局から資料の説明を行った。

図書館協議会及び東海大学学生のご意見を踏まえ、方針「お役立ち図書館」7項目について、各目標に対する具体的な事業や内容を入れ、東海大学生のご意見を追加し、資

料のようなイメージで修正を行いたい。次回図書館協議会の際、最終案として提示したい。

(3) 事務局からの報告事項

・新図書館システム

事務局から資料の説明を行った。

6月29日から新しい図書館システムが稼働した。最初の数日はホームページへのアクセスが集中し閲覧しにくい状況が続いたが大きなトラブルもなく稼働している。追加された主な機能は資料のとおりだが、新たにツイッターを開始し、図書館の事業や施設の状況などを先ほども紹介させていただいた「ぶくまる」がつぶやいている。ペープサートで作成した「ぶくまる」を画像に登場させ、つぶやきも語尾に「ポ」や「ポー」を付けている。この語尾については、議題の(2)今期テーマで報告した東海大学の学生さんとの意見交換会で提案されたものを参考にして決めた。

・延滞者の利用制限

事務局から資料の説明を行った。

新図書館システムの稼働にあわせ、図書館資料を長期間延滞している方に対し、「利用制限」を設けるため、「平塚市図書館の図書資料等の貸出しの停止等に関する要綱」を制定した。これは図書館資料を速やかにご返却いただき、限られた財産を多くの市民の皆様にも有効活用していただくために実施するものである。

具体的にはメール・電話・はがきによる督促を2回行った上で返却されない場合、返却期限の翌日から30日を経過した日から、新たな貸出しの停止、及び新たな予約・リクエストの申込受付を停止する。利用制限対象資料を全て図書館窓口で返却されれば、その場で貸出し停止を解除する。あわせて、図書館以外に返却できる市内の施設の周知を改めて行う。

・70周年記念事業

事務局から資料の説明を行った。

図書館システムの更新により貸出し履歴を保存できるようになることから、手書き用の読書通帳を10月に配付する予定である。また、図書館ホームページからもデータをダウンロードができるようにする予定である。そのほか、60周年以降の過去10年間の本(よく読まれた本など)を振り返る展示や子ども参加型の図書館壁面飾り作成を予定している。

・70周年記念キャラクター「ぶくまる」の進捗状況

前回図書館協議会の際、丸島前北図書館長発案キャラクターとして「ぶくまる」を紹介したが、「ぜひLINEのスタンプとしていただければ普及していくと思うので検討いただきたい。」旨、会長からご提案いただいた。LINEのスタンプは、無料タイプと有償タイプがあるが、企業の公式アカウントによって無料配布されるスタンプは、企業がLINEに数千万単位の広告費を支払う必要があるのに対し、1セット120円で多く売り出されている有償スタンプは、費用はスタンプ自体のデザインや画像作成費、申請などにかかる人的コストのみで済むことがわかった。制作のための予算はないので、職員の力で何とかデザインできないか検討した。デザインが得意な職員が、パソコンソフトで手書き風にアレンジしスタンプを作成し、関係部署との調整後、7月上旬にLINEにスタンプを申請した。通常1か月程度で審査結果がでるとのことなので、うまくいけば夏から秋にかけてスタンプを販売できると考えている。

【 会 長 】	迅速な対応に感謝する。ツイッターでぶくまるが呟くという話もあったが、東海大学の学生からは「ポー」と語尾につける意見と冒頭につける意見等も出ていた。
【 委 員 】	「ぶくまる」のLINEスタンプは申請中ということで良いか。
【 事 務 局 】	7月上旬にLINEへ申請した。
【 委 員 】	スタンプを販売する際、どこかに「ぶくまる」という言葉は入るのか。
【 事 務 局 】	平塚市図書館キャラクター「ぶくまる」という名前で販売する。LINE側の規定により広告的要素を入れてはいけないのでそれに即した形で進めている。
【 委 員 】	先ほどの東海大学生の意見は発想も豊かでとても良いと思ったが、あまり平塚の図書館を利用していないということだったので、図書館をよく利用している方からも意見をいただいたらよりよい図書館ができるのではないかと思うがそのような機会はあるのか。
【 会 長 】	利用者の声を自由に投稿する意見箱以外で利用者から意見を聴く機会はどのようなものがあるか。
【 副 会 長 】	意見を聴く場は色々想定できると思う。例えば、利用者懇談会や利用者の自主的組織等があると思う。しかし、そう言った場で伺った意見、要望が必ずしも市民・利用者の総意と言えるのかは分からない。
【 会 長 】	確かに、利用者からの意見は慎重に聴く必要がある、先ほどの報告であったが、東海大学生は利用条件を満たしているが、実際平塚市図書館を利用していないので、どのような図書館であれば利用したいと思ってもらえるか考える余地もある。また、今回は司書課程を学ぶ4年生を対象としたので、他の年次ではまた違う状況もあるかもしれない。
(3) 委員からの提案	
【 委 員 】	駐車場の件だが、現在1時間のみ無料であるが、例外や今後運用が変更になる可能性はないか。実際、調べ物をしたり勉強しているとあっという間に1時間が過ぎてしまうと思う。
【 事 務 局 】	駐車場の有料化は、市全体の財政健全化の一環で行われており、利用者負担をいただく考えのもと行われている。車、自転車、公共機関、徒歩等様々な手段で図書館に来館される利用者に対し、車で来館された利用者には1時間は無料にした上でそれ以上の部分は、利用者にご負担をいただくものである。
【 委 員 】	それによって図書館離れがさらに進む恐れはないか。
【 事 務 局 】	駐車場の有料化は、1月から開始されているので、その状況を見ながら推移を見守っていきたい。
【 委 員 】	図書館はゆっくりできる場所だと考えている。図書館にカフェができてのんびり雑誌を読んだりできればさらに良いとも考えている。1時間しか無料にならないと1時間で帰らないとという気持ちにもなるので検討してほしい。 もう一つ、図書館は勉強できる場所という認識で良いか確認したい。
【 事 務 局 】	自習室専用の部屋はないが、3階参考室は図書館の資料を使用して調

	べ物をしていただけるようになっていて、席に余裕があれば勉強していただくことも可能である。
【 委 員 】	一人で静かに勉強するのではなく、例えば子どもに勉強を教えながらだったり友達同士話をしながら勉強できるスペースはないか。
【 事 務 局 】	今は話しながら勉強できるスペースを設ける図書館も増えている。また、綾瀬市図書館のように赤ちゃんのための時間を設け、この時間帯には小さいお子さんが声を出したり泣いてしまったりしても、気兼ねなくゆっくり過ごせるようなサービスもあるので、そういった方向性も検討していかなければならない。
【 事 務 局 】	夏休みや冬休み期間中は、中高生にも図書館に来てもらえるよう中高生を対象に、事業やイベントでの使用がなければ3階の会議室を自習スペースに開放している日もある。友達同士で調べ物したり、多少なら話しながら勉強したりしていただける。
【 委 員 】	中高生限定か。いつ開放するのかどこで知ることができるのか。
【 事 務 局 】	中高生対象である。不定期で開放しているので、ホームページ等でお知らせしている。
【 委 員 】	開放している以外の日はどこで勉強すれば良いのか。
【 事 務 局 】	先ほども説明があったが、3階参考室では、資料を調べながら勉強するため席を用意しているが、席が空いていれば自分で資料をお持ちいただいて勉強していただくことも可能である。
【 会 長 】	図書館が勉強しやすいからという理由で参考書を持ち込んで何時間も席を確保し勉強する学生が多く、他の利用者が資料を読むスペースがなくなってしまうことが全国的にも過去に問題となった案件である。学習室はなし、館内資料を使用しないのなら勉強を禁止する図書館もあるが、平塚市では夏冬休みは中高生に自習スペースを開放し、それ以外でも空いていれば資料を持ち込んでの勉強も可としている。
【 委 員 】	館内のどこでなら勉強して良いかがわからない。
【 事 務 局 】	各階には、机と椅子を用意しているスペースがあるが、他に資料を読みたい方がいなければ勉強するためご利用いただける。
【 委 員 】	専用で集中して勉強できるスペースはあるか。
【 事 務 局 】	勉強専用スペースのご用意はない。
【 会 長 】	調布市中央図書館は複合施設の中にあり、図書館には勉強スペースはないが、自習スペースとして開放しているフロアもある。専用で気兼ねなく勉強できるスペースが、不定期ではなく常時用意されていれば良いのかもしれない。図書館に来てもらうことで、本の利用にも繋がる部分があるのでうまく両立できれば良い。地区図書館ではどのような状況か。
【 事 務 局 】	西図書館では、イベントがなければ視聴覚室を臨時学習室として開放している。閲覧スペースでは勉強はご遠慮いただいている。
【 事 務 局 】	南図書館は、自習室の用意はないが、テスト期間中は中高生が館内で勉強する姿が多く見られるが特に注意などはしていない。

【 委 員 】	図書館としては、図書館は本を読みに来る場所であって、勉強するために来る場所ではないと考えているのか。
【 会 長 】	空き具合によると思うが、混んでいなければどうぞ使ってくださいというスタンスだと思う。
【 副 会 長 】	図書館は色々な使い方ができる場所であって、一言に勉強といっても、図書館の資料を使って勉強する場合や、図書館の資料を使って勉強しようと思っても結果使わずに勉強した等色々なケースが考えられる。図書館側としたら、人によって線引きは難しく、明らかに受験勉強をしているように見えてもなかなか注意できないのが現状である。静かにするスペース、話しながら勉強できるスペース等確保できれば良いのだが現実的には難しく、施設によっては時期によってレイアウトを変えたり、時間帯を考えたりして工夫している。利用者からすれば、図書館は本を読まなくても新聞を読まなくても利用できる場であるので、図書館側から線引きすることは中々難しい。
【 委 員 】	市内の小学校では、図書室が冷暖房完備なので、今の時期だと涼しく児童にも大変人気の場所となっている。学生時代、図書館に自習室があり、そこで勉強して帰りに本を借りて帰った記憶がある。ホームページをみれば学習室を利用できるのかどうかすぐにわかると有難いし、図書館の利用にも繋がると思う。
【 事 務 局 】	図書館として、勉強に来る方を全く受け入れない訳ではないが、席が混んでいる中ずっと勉強して席を確保している状態をどう考えるかということだと思う。
【 委 員 】	本を読んでいる方とは別に勉強専用のスペースがあれば良い。図書館の西側の建物は何か。
【 事 務 局 】	博物館の市史編さん室として、別の部署が入居している。
【 会 長 】	ニーズとしては、話しながら無料で利用できる勉強専用のスペースがあれば良いということだと思う。
【 委 員 】	子どもも勉強できる場所を探すのが難しいらしく、ファミレスを利用したりしているようだが、親としては安心して長時間利用できる勉強専用のスペースがあれば良いと考える。
【 事 務 局 】	新しい図書館だと、グループ学習できるスペースを設けたりしているところもあるので、今後の課題とさせていただきたい。
【 委 員 】	青少年会館には専用の自習室がある。その他、図書室がある公民館や子どもの家にも図書室があり、それらはグループ学習できるスペースと記憶している。図書館と公民館や子どもの家の図書室と直接繋がりはないかもしれないが、図書館のイベントや施設の開放状況など、公民館や子どもの家でも情報を知ることができると思う。さらに、公民館や子どもの家の図書室にもPCを設置してレファレンスサービス等も提供できると良いと考える。 そのほかいくつか提案があるのだが、学校を通じて将来の図書館利用に繋げるためどうすればよいかを考えた時、授業の中で図書館の資料を使用することは有効ではないかと思った。図書館として、学校で使用し

	<p>ている教科書の研究をし、教科書と並行して授業で使用できるような教材の提供があれば、図書館の利用にも繋がると考える。</p> <p>次に、生徒会児童会のサミットのようなものが行われていたことが過去にあると思うが、図書委員のサミットのようなものがあれば良いとも考える。図書館の自主事業として、市内の図書委員を集め、午前中各校図書室の紹介、午後に一日図書館員等のイベントを企画すれば、図書館を身近に感じる子が増やせるのではないか。</p> <p>次に、各校のPTA組織と図書館が連携できないかも考えている。PTA活動が停滞している学校もあり、毎年講演会の講師を探すのに苦労している話もある。図書館として、図書を紹介してブックトークをしたり、講演会の講師を紹介したり、講演会のバックアップはできないだろうか。</p> <p>最後に、各地区館の特色をもっと持たせるのはどうだろうか。例えば、南図書館は子ども向け、西は学生向け、北は高齢者向けというローテーションを組んで時期によって各地区館展開するもの面白いかと思う。また、駐車場に関しては、子連れの方や学生の方には、一般より割安に利用することができないだろうかと考える。</p>
【 委 員 】	<p>駐車場代がかかると割り切ってしまうとできなくもないかもしれないが、心理的には無料で済む1時間で図書館から帰らなくてはという気持ちになる。図書館はのんびりする場所だと思うので、先ほどもお伝えしたがカフェなどあったら良いと思うが難しいか。</p>
【 事 務 局 】	<p>現状は難しいが、今後施設の再編の中で、図書館の建替え等検討された際には、広く市民の意見を聴きながら計画していくので、その際にご意見として取り入れさせていただければと思う。</p>
【 委 員 】	<p>カフェができて駐車場代がかかれば意味がない部分もある。図書館でのんびりしてほしいのかしてほしくないのかと考える。</p>
【 委 員 】	<p>先日図書館の映画会に子どもと参加したが、駐車場代がやはりかかってしまったので、図書館のイベントに参加した際には駐車場代が無料になる等の特典があれば良いと思った。先ほどの提案にもあったが、小学校には総合学習の授業があり、地域に根差した資料を探すのに苦労するので、周辺地域の資料を各地区館で取り揃えていただけると非常に助かる。</p>
<p>(5) 今後の予定</p>	
<p>11月8日(木) 14時</p>	
<p>閉 会</p>	